

NTN

Make the world **NAMERAKA**

2024年度 ESG説明会資料

DRIVE

Digitalization Resources Innovation Variable cost reformation Efficiency improvement

NTN100

Final

2024.12.20

NTN株式会社



代表執行役 執行役社長
CEO（最高経営責任者）

鵜飼 英一

社外取締役 取締役会議長

小松 百合弥

執行役
人材戦略部担当(兼)人事部担当

川端 恭弘

執行役
経営戦略部担当(兼) ESG推進部担当
(兼)カーボンニュートラル戦略推進部担当

木下 俊平

執行役
CTO（最高技術責任者）
(兼)研究部門担当(兼)未来創造開発本部担当
(兼)新商品戦略部担当(兼)知的財産戦略部担当

中野 賀泰

カーボンニュートラル戦略推進部 部長

山崎 雅之

I. NTNグループのESG経営

II. E（環境）

III. S（社会）

IV. G（ガバナンス）

NTNグループの理念

企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する

目指す姿

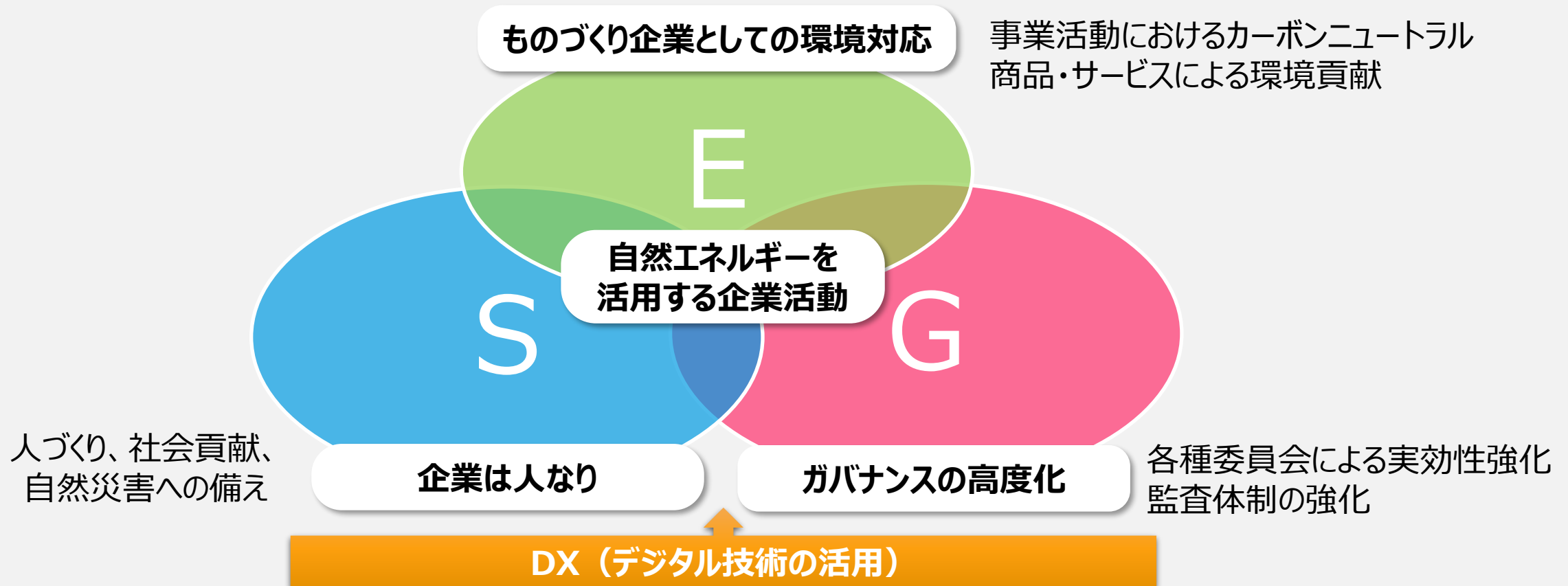
「なめらかな社会」の実現



サステナビリティ活動とは

NTNグループの事業活動を通じて、

人類が安心・安全に生活できる美しい地球を次世代へ引き継いでいくこと



「SQCCD」と「NTNドリブン」

SQCCD : 事業運営の柱

- 全従業員が行動改革・意識改革
- ものづくり企業の背骨として全従業員へ共有

2035年度の姿

DRIVE NTN100 *Final*

事業構造の変革

アフターマーケット
ビジネスの拡大

OEMビジネスの
競争力強化

新商品の創出と
新事業の育成

変革を支える戦略

バリューチェーン改革

- 設計改革、商品化スピードの向上
- 調達改革、生産改革、物流改革
- 守る品質、攻める品質、儲ける品質

経営基盤の変革

- 新組織体制によるポートフォリオ強化
- KPIを用いた施策推進とフォローの強化
- デジタル技術の活用による利益創出

ESG経営の進化

- カーボンニュートラル・サステナブルへの対応
- 多様性を尊重した人材育成や働き方
- ガバナンスの高度化、リスク管理の強化

SQCCD

Safety Quality Compliance Cost & Cash Delivery & Development

NTNドリブン : マインドセット

- NTNを起点とした行動で付加価値を提供
- 自分事にするマインドセットで事業構造の変革に挑戦

カスタマーファーストを前提としたNTNドリブン
事業構造の変革に挑戦するためのマインドセット

- I. NTNグループのESG経営
- II. E（環境）
- III. S（社会）
- IV. G（ガバナンス）

事業活動におけるカーボンニュートラル

CO₂排出削減により環境負荷を低減

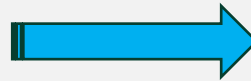


自社の燃料燃焼における直接排出
自社の電気使用などによる間接排出
サプライチェーンにおける排出



商品・サービスによる環境貢献

脱炭素・サステナブルな社会に貢献



止めない技術
長寿命化技術
エネルギーロスの低減

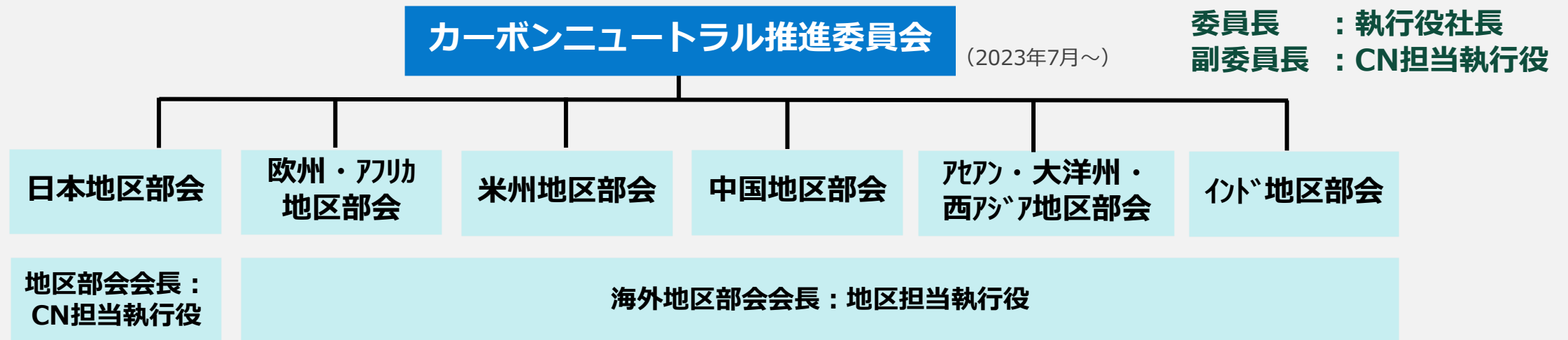


NTNグループのカーボンニュートラル目標

CO₂排出量削減目標（スコープ1・2）
2030年度までに50%削減（2018年度比）
2035年度までにカーボンニュートラル達成

CO₂排出削減目標（スコープ3）
2050年度までにカーボンニュートラル達成

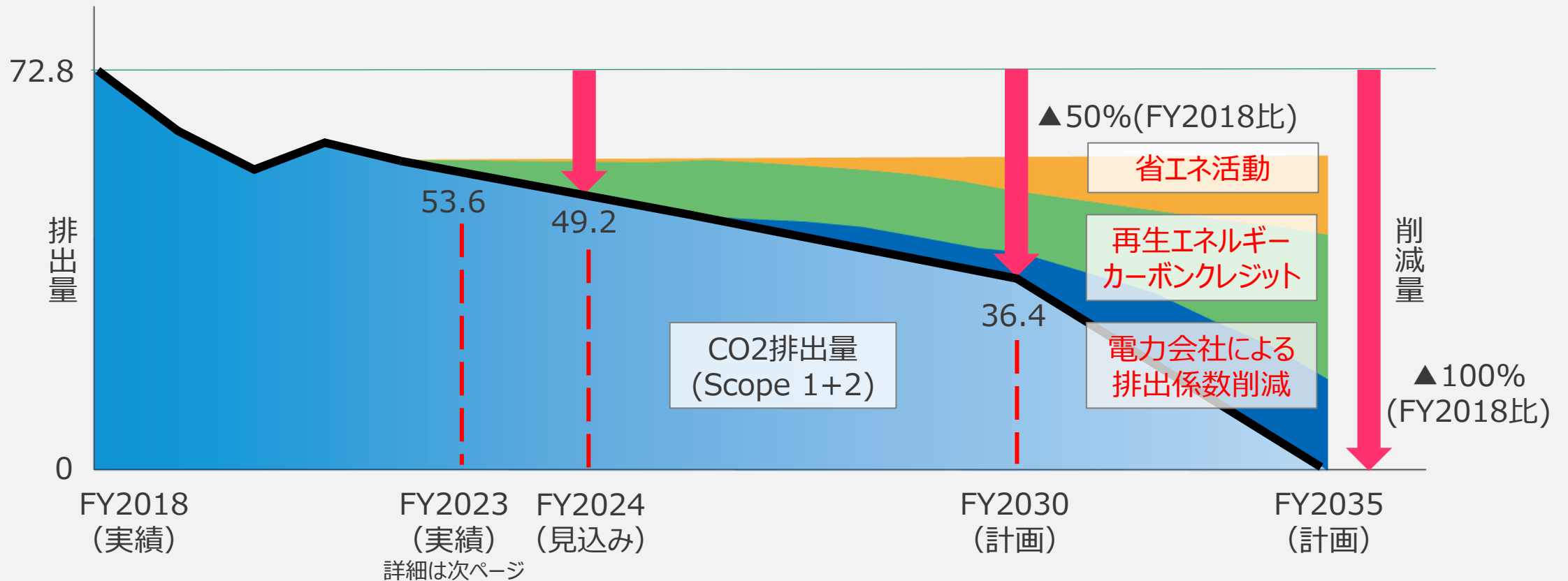
カーボンニュートラルに向けた推進体制



カーボンニュートラルロードマップに基づく活動推進

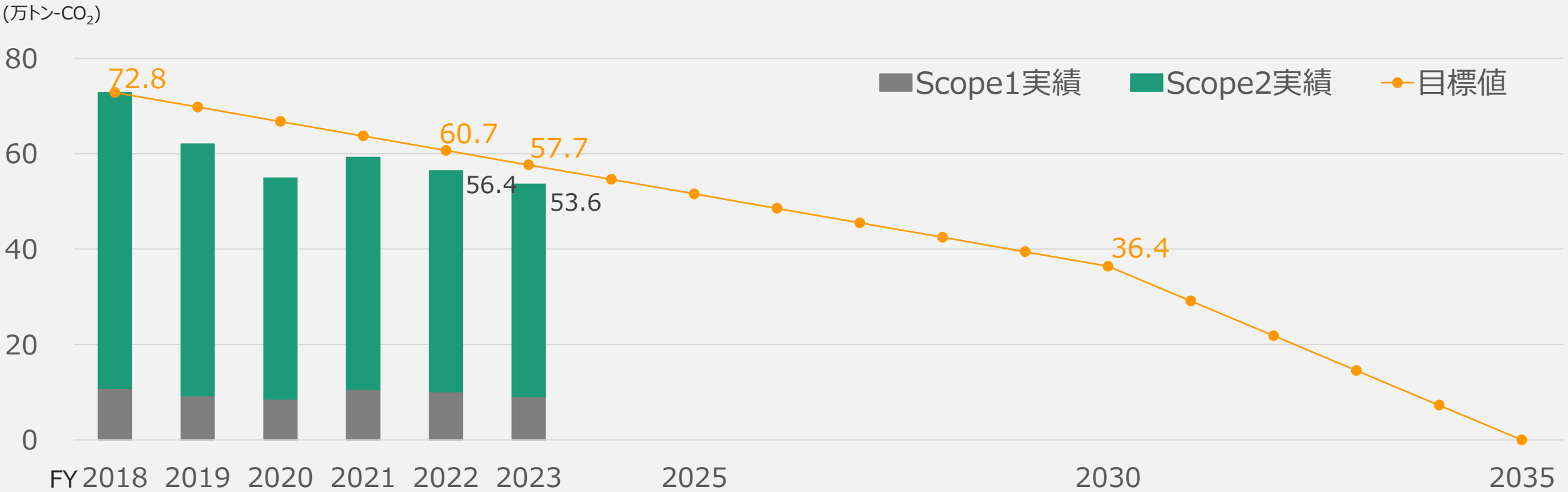
- 2024年1月 カーボンニュートラル推進委員会において、各地域のロードマップを集約したグローバルロードマップを共有
- 各地区の活動により、グローバル目標を達成

(万トン-CO₂)



年間目標を達成する水準で推移

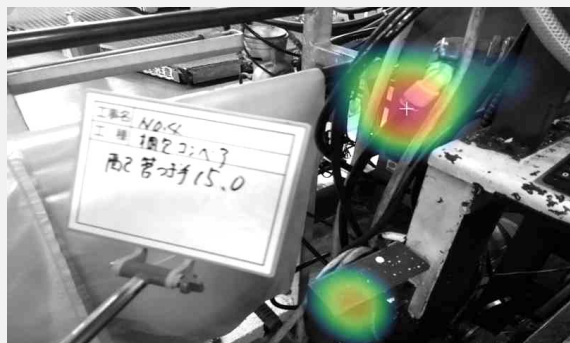
■ 2023年度実績
スコープ1（直接排出）90,943トン（国内 50,591トン 海外 40,352トン）
スコープ2（関節排出）445,425トン（国内 219,669トン 海外 225,756トン）



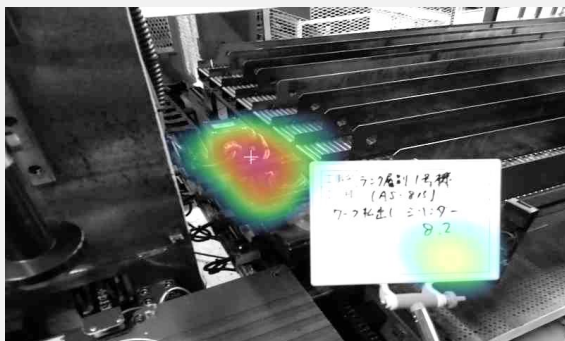
②-5 事業活動で使用するエネルギーの削減

ムダが見える化、エネルギー使用を削減

- 省エネ施策の成果はデータベース化し、海外の事業所に好事例をグローバル展開
- 新規設備投資は、投資判断指標としてインターナルカーボンプライシングを導入（2023年度～）

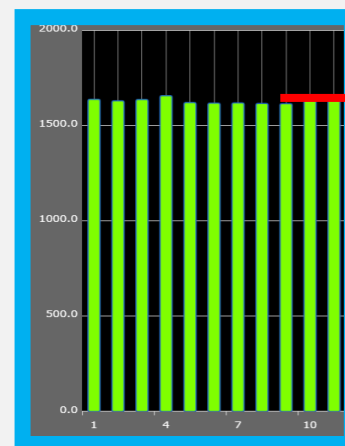


CO2削減量
17,051kg-CO2/年
(実施対象：275箇所)

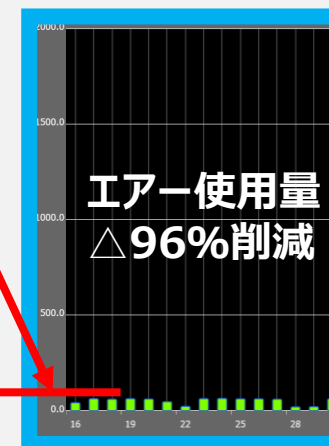


エアリーク箇所を視覚的に表示できる「エアーリークビューワー」を用いて対象箇所を特定し、補修した事例（磐田）

Before



After



CO2削減量
27,141kg-CO2/年



エアー流量計の設置により工程ごとのエアー使用量が見える化した結果、増圧タンクのエアー漏れ発生が判明し、対策した事例（桑名）

国内外の事業所で太陽光発電の導入を拡大

■ オンサイトPPAモデル



和歌山製作所
(2024年10月～)



■ 税制優遇を活用した自己投資



タイの製造拠点における
ソーラーパネルシステム設置式典
(2024年8月)

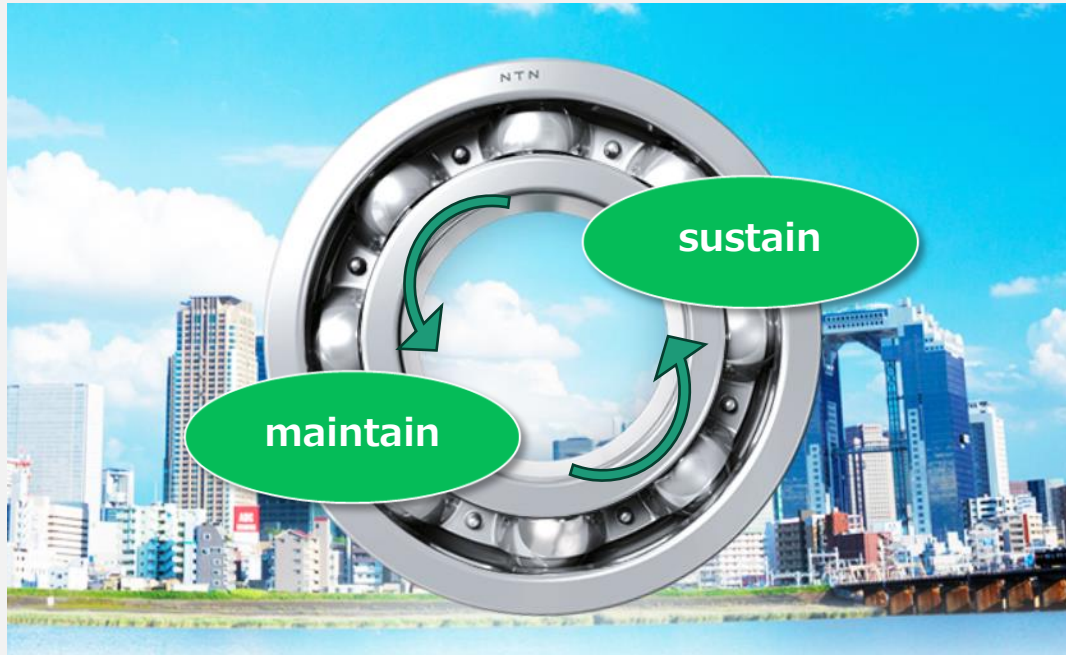


→ カーボンニュートラルの推進に加えて、電力調達のコスト低減により原価低減につなげる

社会課題の解決に貢献

「なめらかな社会」の実現に向けてNTNが提供する付加価値

- 1) 止めない技術
- 2) 長寿命化技術
- 3) エネルギーロスの低減



「なめらかな社会」
の実現

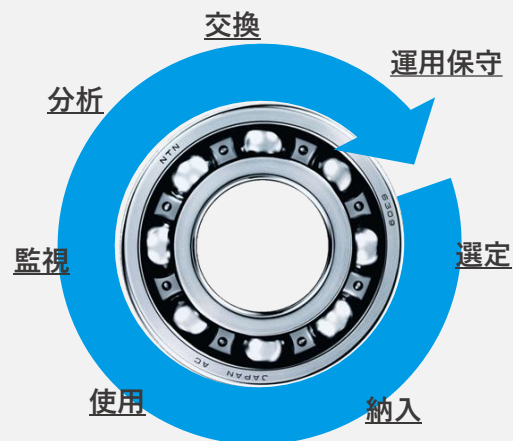
②-8 商品・サービスによる環境貢献（止めない技術）

1) 止めない技術

- さまざまなサービスで適切なメンテナンスが可能になり、稼働率向上
- 設備・機械が止まるお客さまの機会損失の削減に貢献

<サービスの一例>

- 状態監視：軸受の異常を早期に検出し、設備の保全コストを削減
- 診断提案：監視データを分析・診断後、レポート結果を提供
- 点検調査：点検と損傷状態の調査を行い、軸受の状態を判定
- 軸受保全：安定稼働に向けて軸受の保全サービスを提供



風力発電装置用
状態監視システム「CMS」



NTNポータブル
異常検知装置



しゃべる軸受



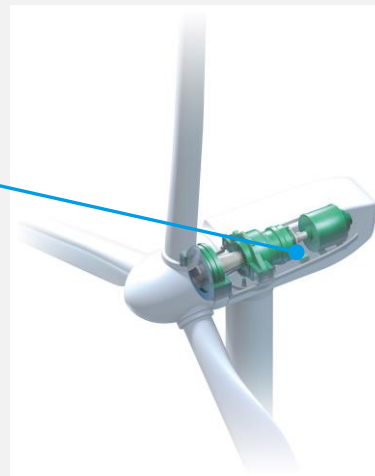
当社CMS導入による風力発電の基盤づくり

■ 風力発電装置用 状態監視システム「CMS」

風力の状態を監視 → 異常を検知 → 適切なメンテナンス → 風力発電を止めない → サステナブルな社会の構築

■ 販売機会の拡大

当社の風力発電装置用状態監視システム「CMS」を搭載した風力PPAの導入



ナセル部



風力発電装置（イメージ）

2) 長寿命化技術

- 技術・品質に優れた軸受を提供し、生産効率の向上や省エネルギー化に貢献
- 軸受の長寿命化に努め、より長く使用いただくことで省エネに貢献

＜商品の一例＞

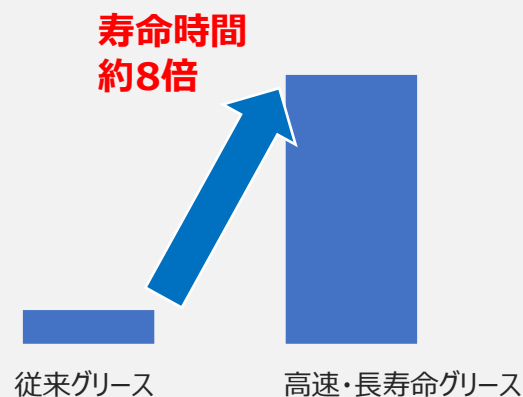
- 工作機械主軸用グリース潤滑軸受向け高速・長寿命グリース
- グリース潤滑軸受向け潤滑油給油ユニット
- 特殊熱処理技術 HA-C



工作機械主軸用「グリース潤滑軸受向け潤滑油給油ユニット」



工作機械主軸用グリース潤滑軸受向け「高速・長寿命グリース」



特殊熱処理技術「HA-C」

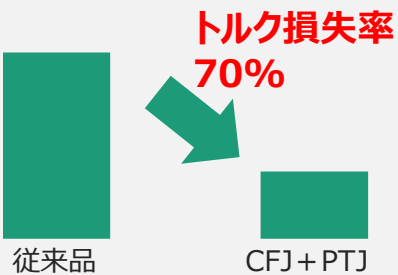
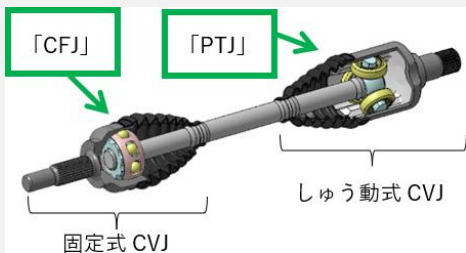
3) エネルギーロスの低減

- EV/HEVに求められる剛性と耐久性に優れた商品を提供
- 環境貢献度を追求した商品の開発・販売を拡大

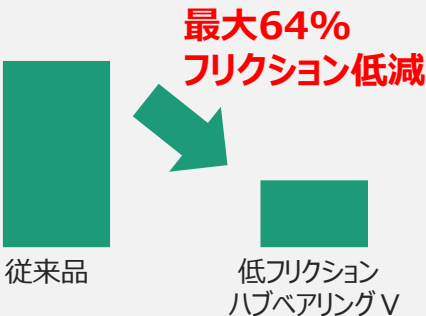
＜商品の一例＞

- EV向け高効率・低振動ドライブシャフト
- 低フリクションハブベアリングシリーズ
- 同軸e-Axle向け大径深溝玉軸受

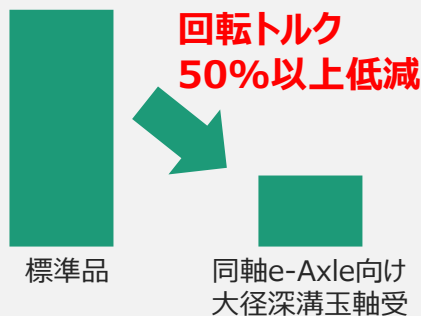
EV向け高効率・低振動ドライブシャフト



低フリクションハブベアリングV



同軸e-Axle向け大径深溝玉軸受

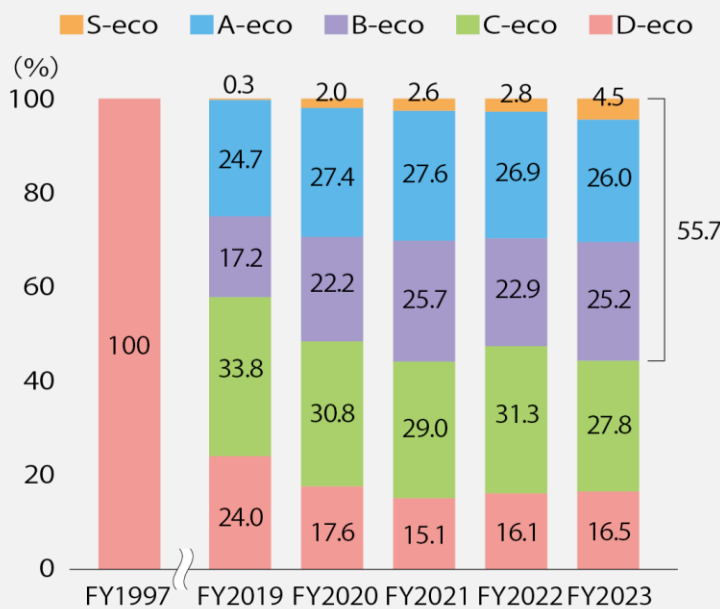


＜環境貢献商品の定義＞

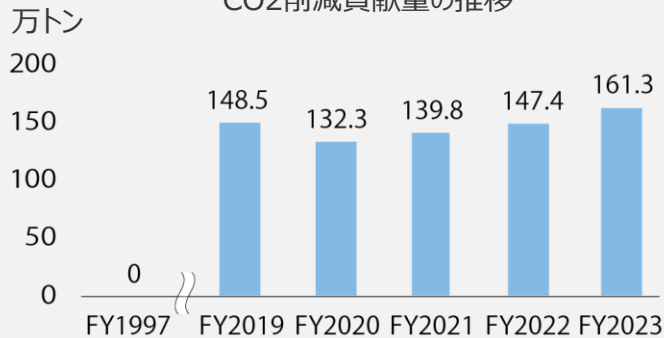
1997年頃の性能を持つ商品をベンチマークとし、商品ごとに定めた環境ファクタ基準に照らしてS～D-ecoグレードの5段階に分類

グレード	定義
S-eco	世界の技術水準をふまえて商品ごとに定めた環境ファクタ基準に照らし分類
A-eco	
B-eco	
C-eco	
D-eco	最終製品のエネルギー損失低減に寄与し、かつ1997年頃の性能と同レベルの商品

環境貢献商品の実績



CO2削減貢献量の推移



- I. NTNグループのESG経営
- II. E（環境）
- III. S（社会）
- IV. G（ガバナンス）

■ 従業員の成長が、企業の成長に通じる「企業は人なり」

■ 機械メーカーとしての技術競争力の強化

■ AI、データサイエンティストなどデジタル技術を活用したビジネスの発展

■ 多様な従業員が自律的に能力を十全に発揮できる環境づくり

持続的な企業価値の向上



③-3 人材戦略（競争力強化、ビジネス発展を支える人材育成）

機械メーカーとしての技術競争力の強化

【世界QCサークル大会の開催】



【専門別研修および階層別研修などの実施】



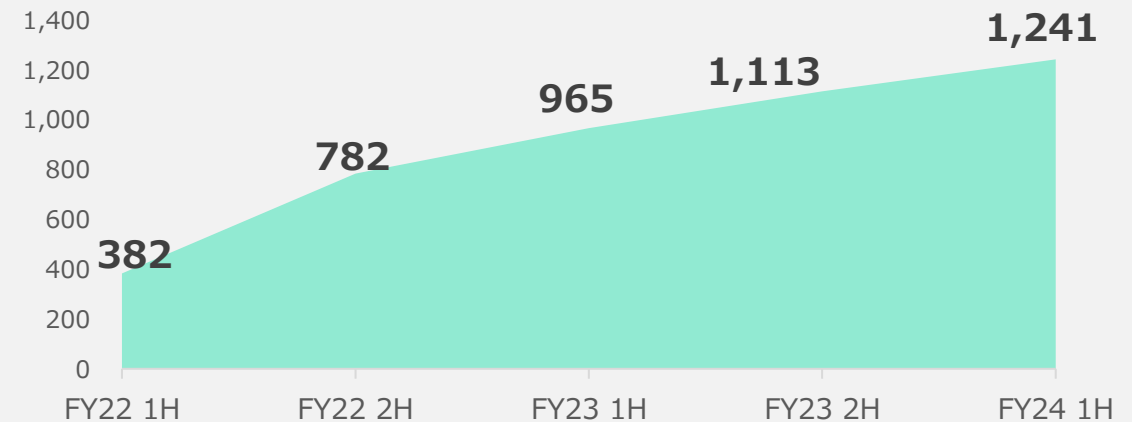
【研修実施推移】



デジタル技術を活用したビジネスの発展

【データリテラシー、AIリテラシー講座の受講者推移】

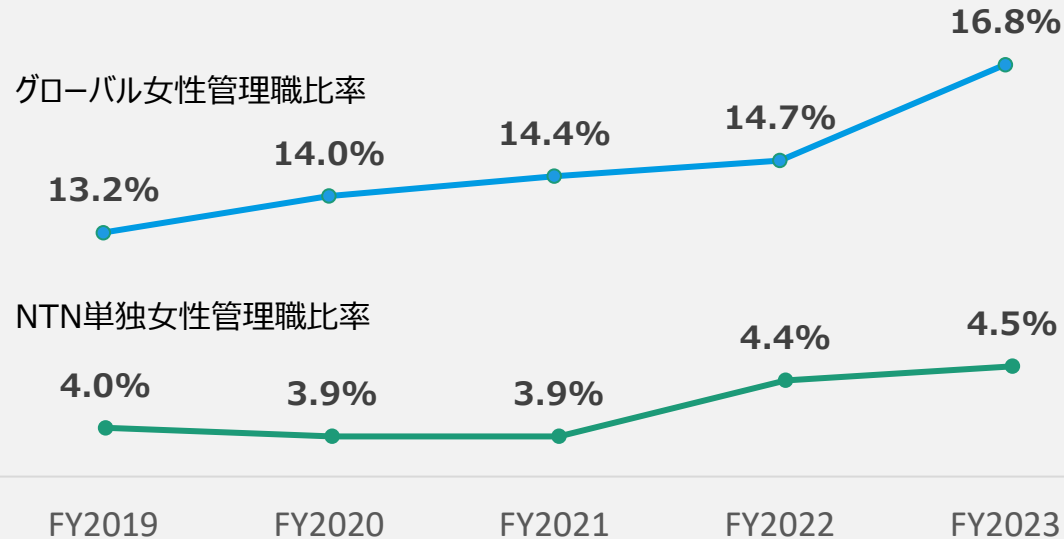
単位：延べ人数



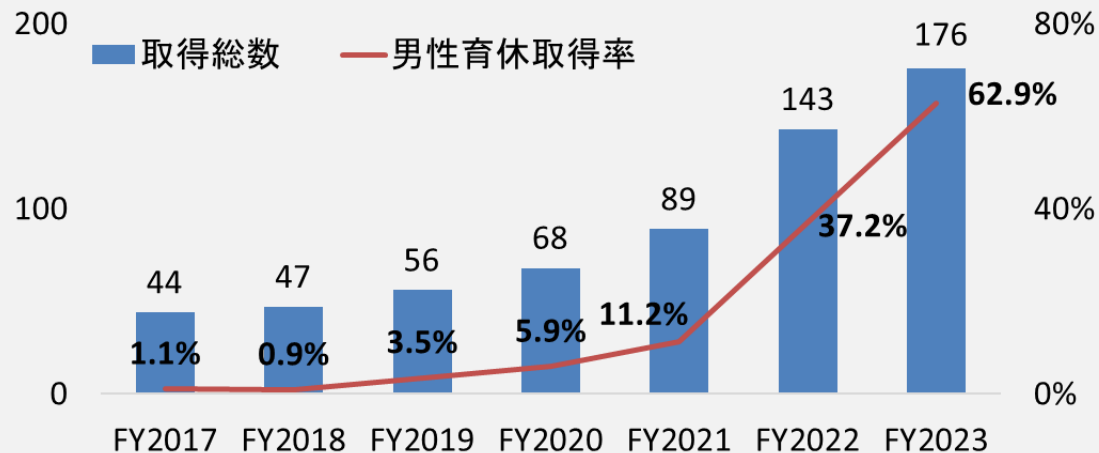
③-4 人材戦略（環境づくり）

ダイバーシティ&インクルージョン

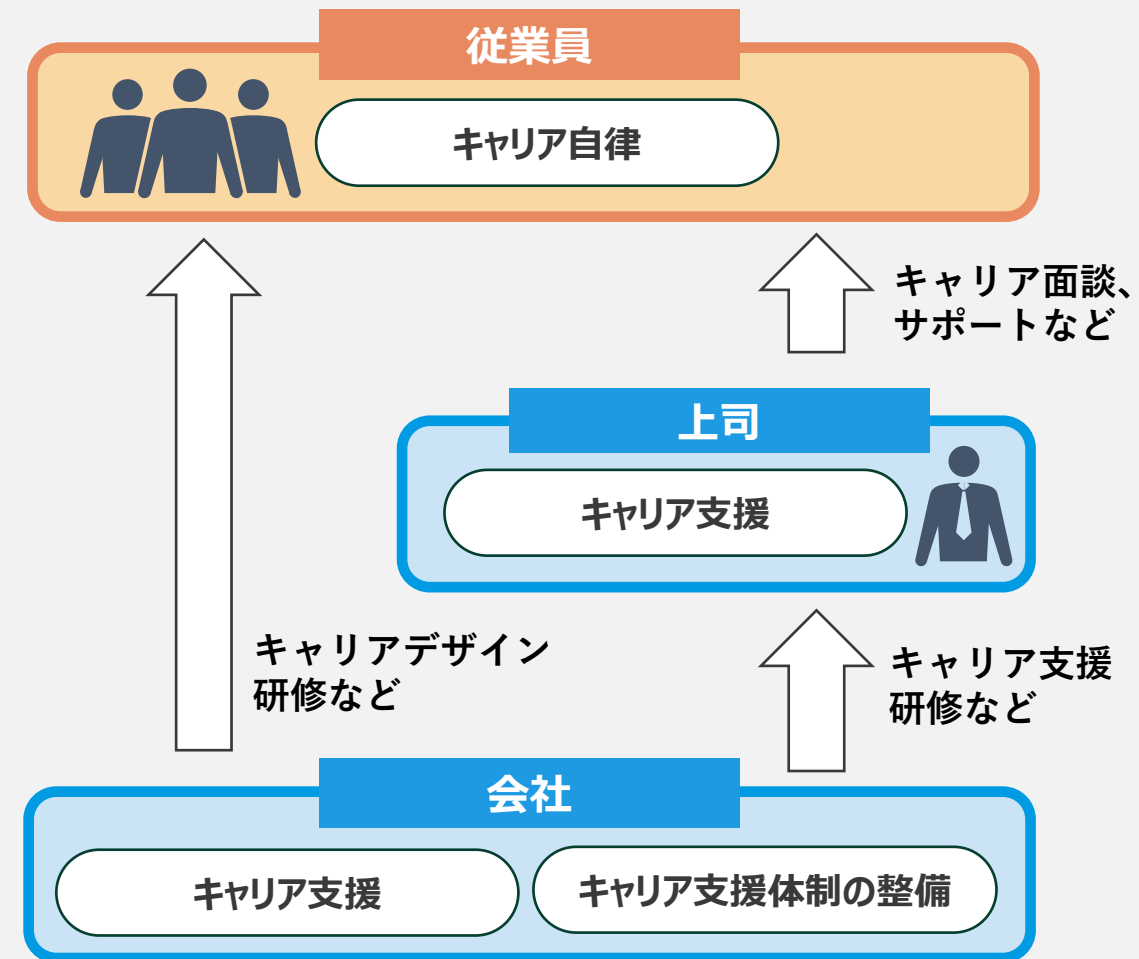
＜女性管理職比率 グローバル16.8% NTN単独4.5%＞



＜育休取得総数および男性育休取得率＞



自律的なキャリア形成支援



③-5 人々の安心・安全な暮らしに貢献

防災・減災による自然災害の備え

■ 移動型独立電源装置「N³エヌキューブ」



静岡県吉田町の水防センター
の独立電源として採用
(2022年～)



国土交通省が選定した「防災道の駅」の
ひとつ徳島県の道の駅「いたの」で実証
実験 (2024年9月)

環境に配慮した生活基盤の構築

■ 欧州のバイクステーション



ジュネーブ郊外で開催されたバイクステーション
お披露目式 (2024年11月)

③-6 人口減少や気候変動による脅威へ対応

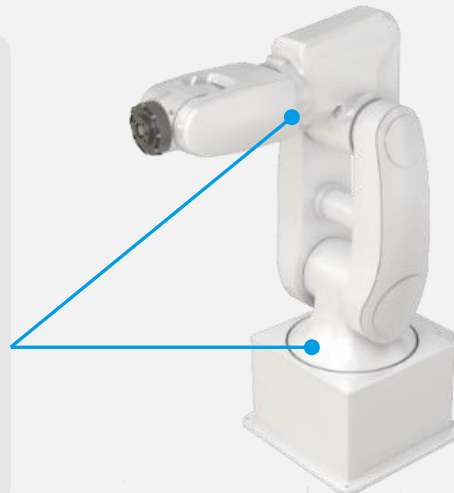
ロボット化に貢献



外観検査装置



手首関節モジュール i-WRIST



ロボット

ライフサイエンス分野



微細塗布装置



(例) iPS由来心筋細胞

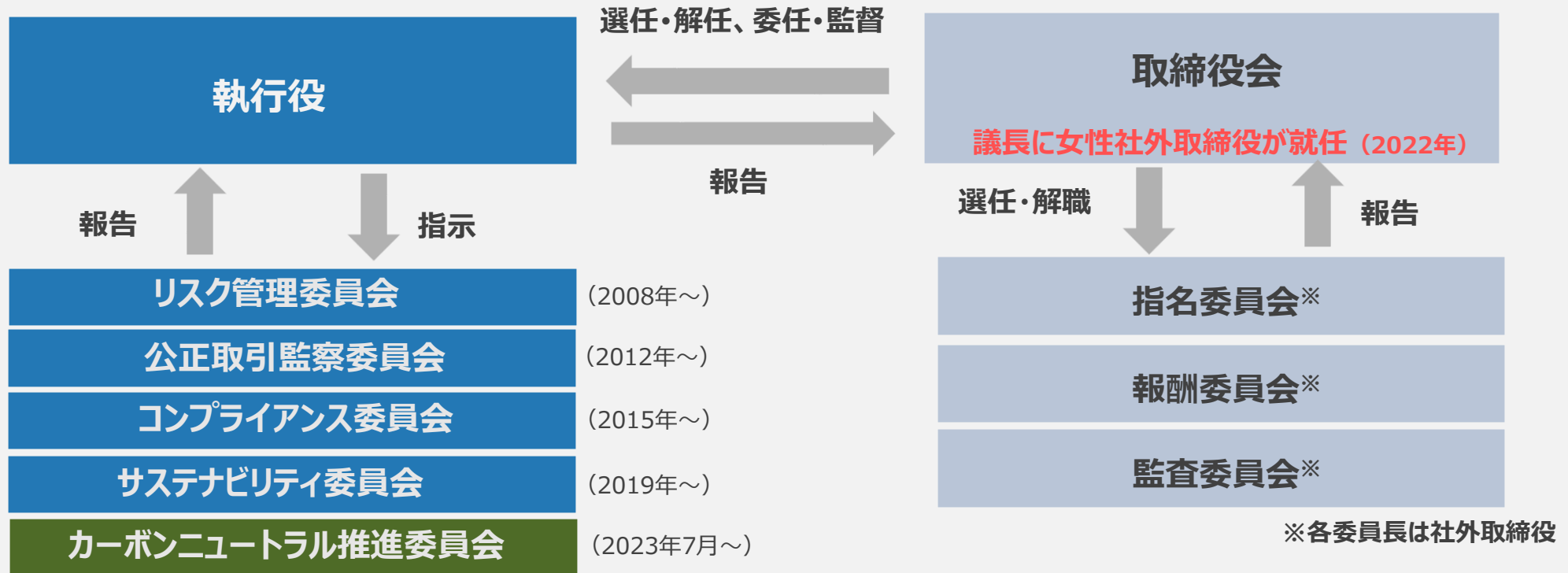


(例) 医療用検査キット

- I. NTNグループのESG経営
- II. E（環境）
- III. S（社会）
- IV. G（ガバナンス）

ガバナンス体制の強化

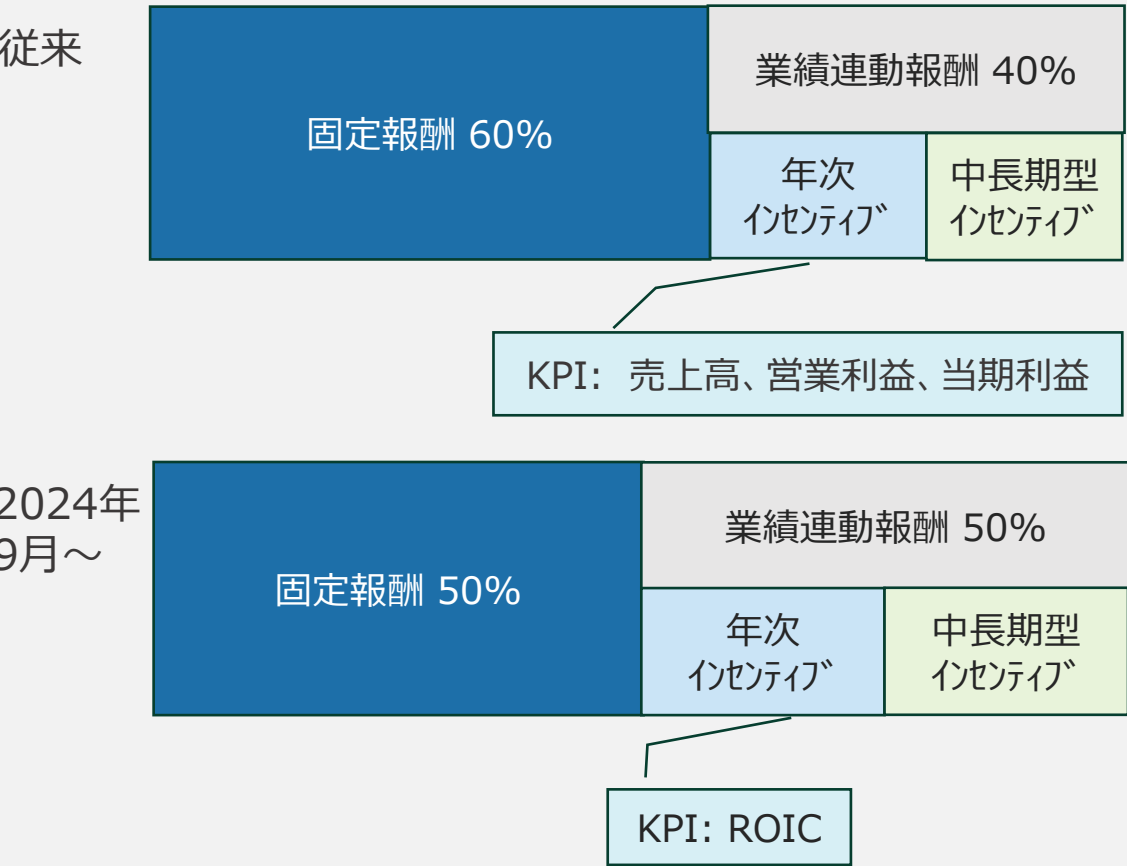
「カーボンニュートラル推進委員会」を設置し、カーボンニュートラルの実効性を高める体制を整備



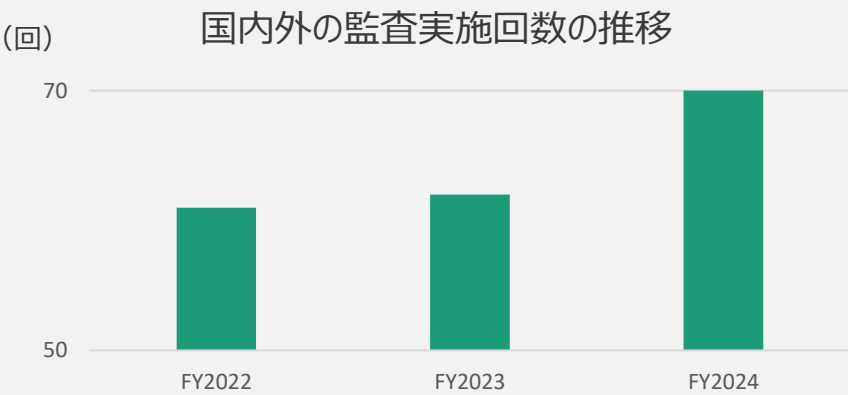
報酬委員会の活動

監査委員会の活動

■ 執行役の報酬見直し



■ 監査委員会の体制強化、仕組みの定着化



■ 社内周知による理解促進





- 本資料およびプレゼンテーション、引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などのさまざまな要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。